

相模原市の都市づくり オープンハウス2017

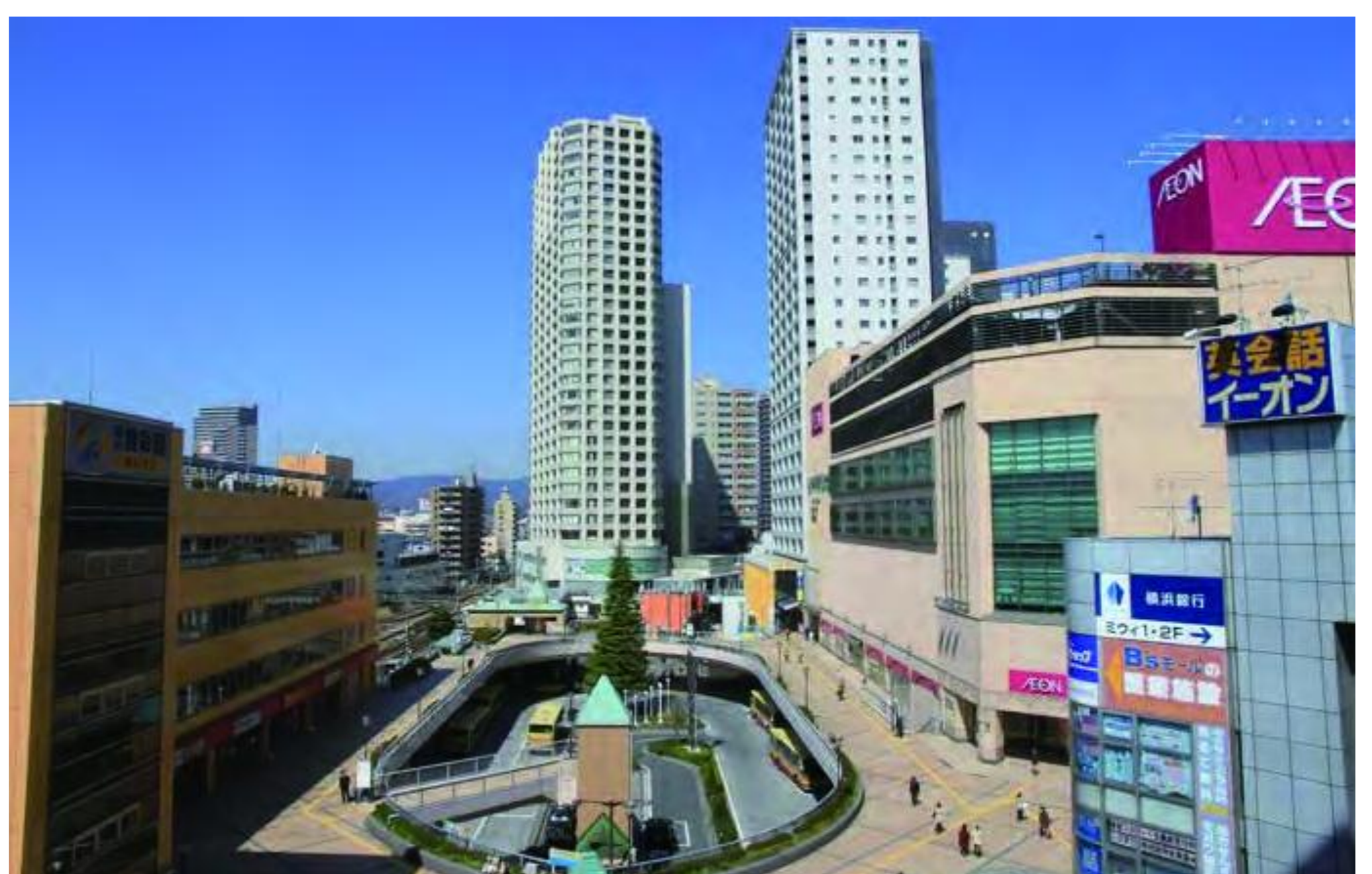
■相模原市の都市の現況や今後の都市づくりのあり方に関する
パネル展示を実施しています。

■是非ご覧いただき、あなたのご意見をお聞かせください！

■ 橋本駅周辺



むかし



いま

■ 相模原駅周辺



むかし



いま

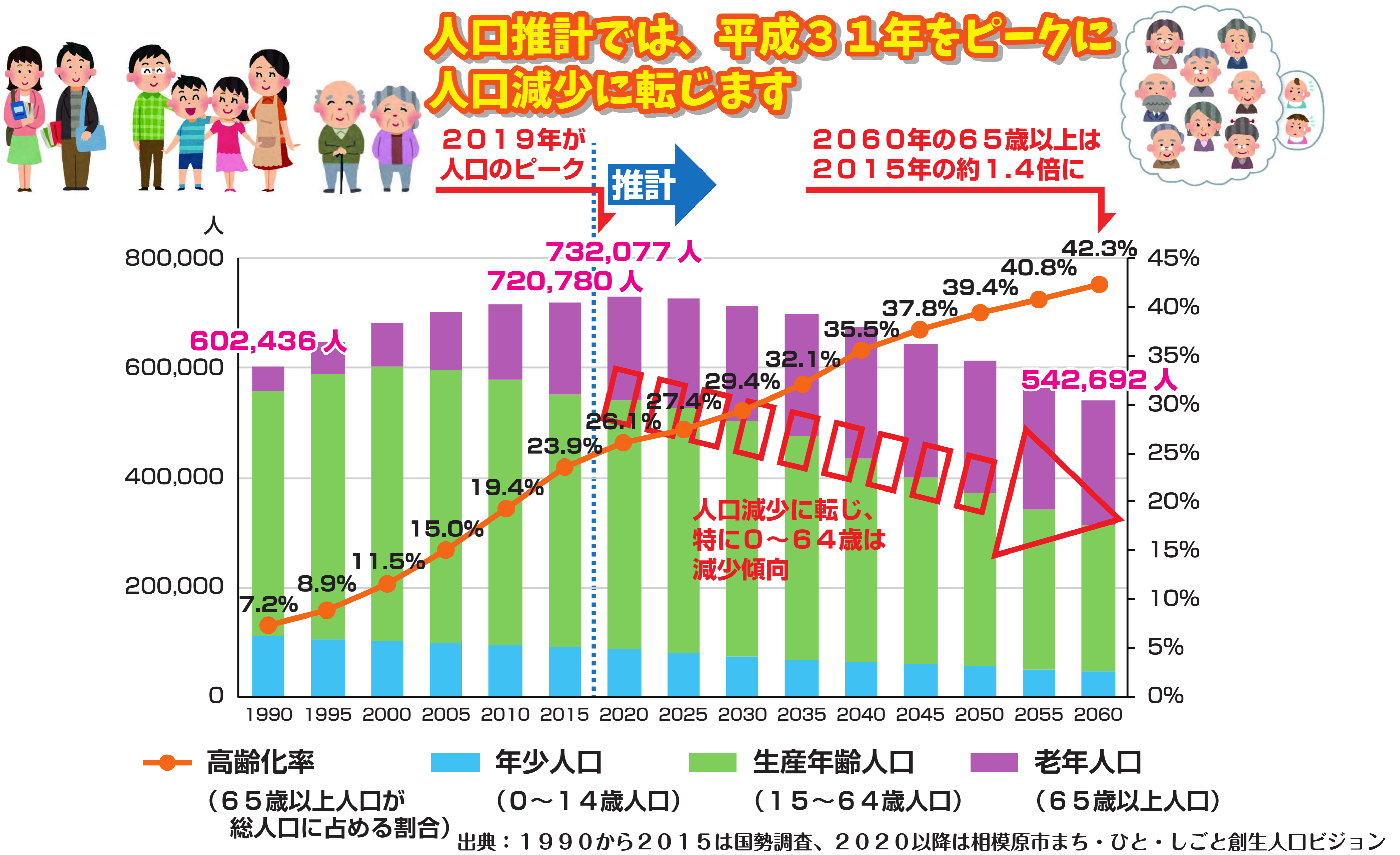
主催：相模原市
都市建設局まちづくり計画部都市計画課

子どもが減り、高齢者が増え、 全体の人口は減少していきます！

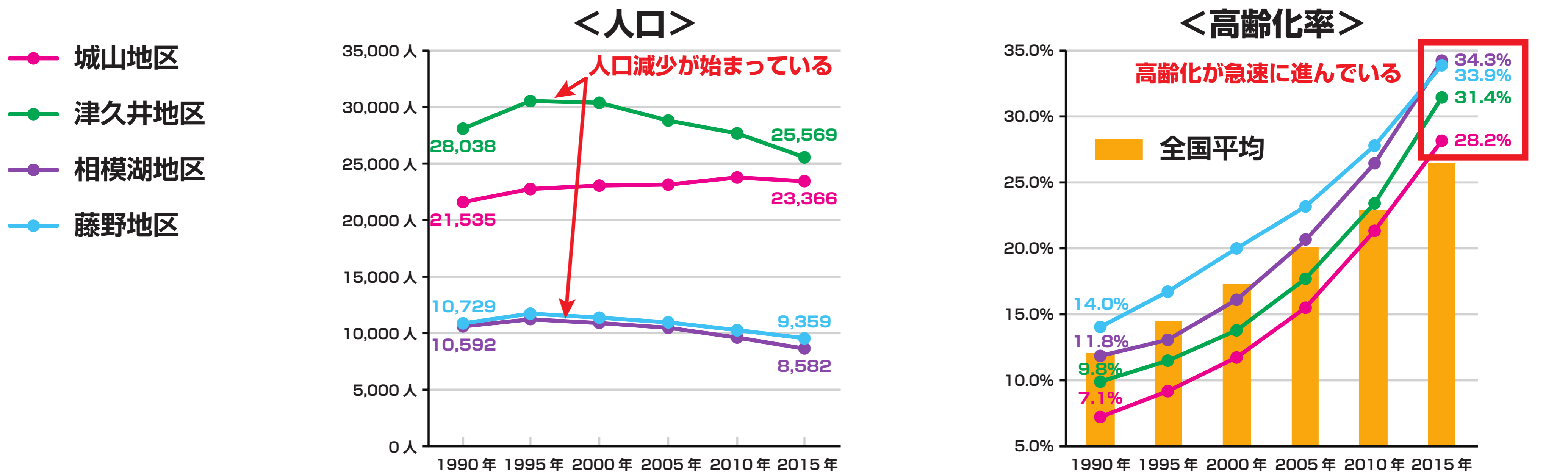
～人口の変化をキーワードに、相模原が直面する課題を考えてみます～

- 本市の概ね **4人に1人**は高齢者で、**子どもの数は8人に1人**だけです。
(2015(平成27)年時点)
- 総人口も、2019(平成31)年をピークに減少**に転じることが見込まれています。
- 特に津久井地域では、**人口減少と高齢化がすでに進んでいる**ことが分かります。

【相模原市の人口の推移と今後の推計値】



【津久井地域の人口と高齢化率の推移】



直面する課題（その1）

生活利便性の低下

- 人口が減少してしまうと、病院やお店など、**生活していくために不可欠な施設が減ってしまう**かもしれません！
- また、シャッター通りや空き家が増え、**活気のない街なか**になってしまうかもしれません！

【人口の減少や高齢化による生活利便性の低下のイメージ】



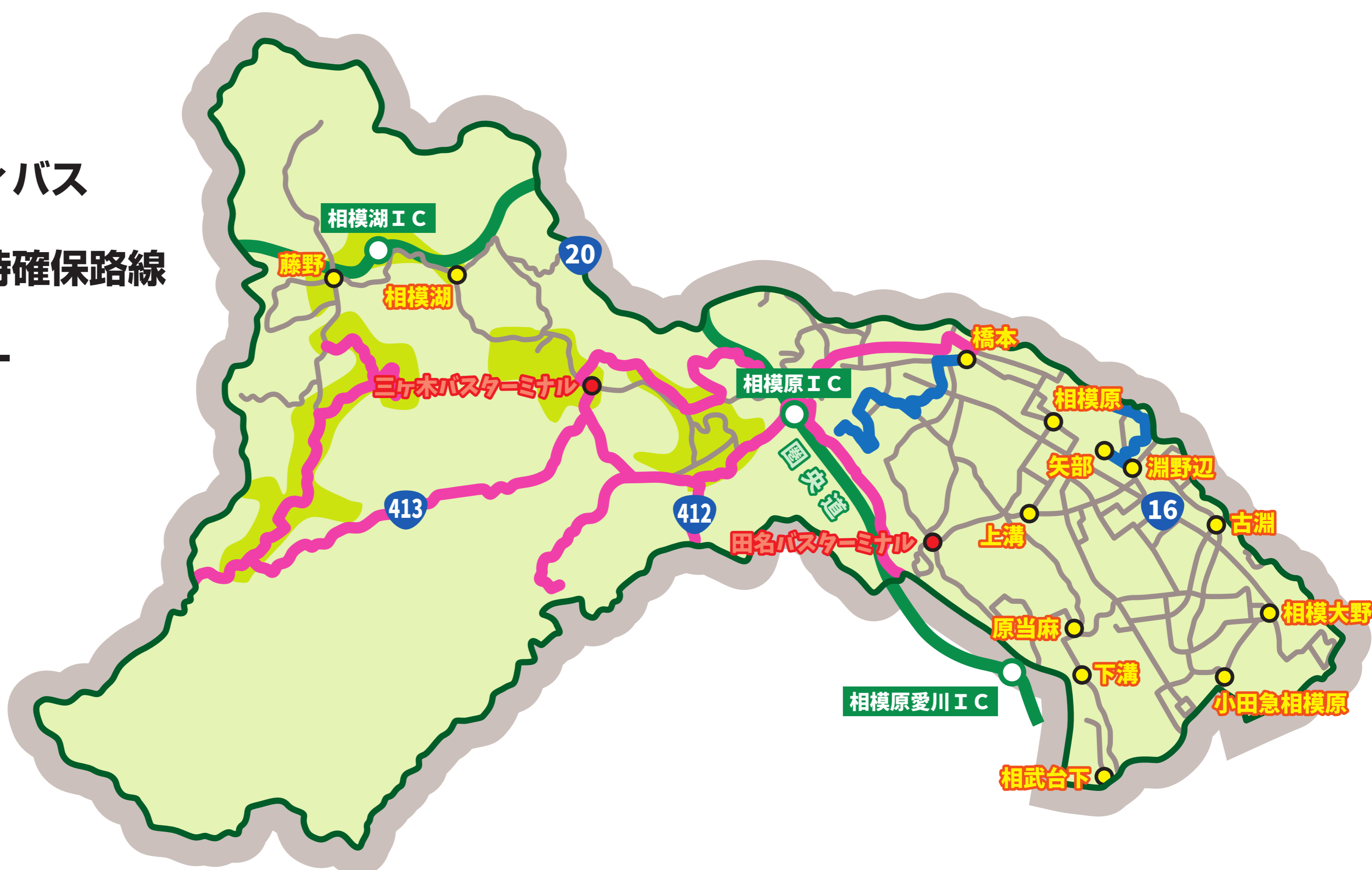
直面する課題（その2）

公共交通網の弱体化

- 高齢者や免許を持たない人の重要な交通手段であるバスなどの公共交通は利用者が減少するとサービスが低下し、存続が危うくなることも想定されます。
- 利用者の減少が経営を悪化させ、その結果、サービスがさらに低下してしまうという悪循環に陥ることが心配されます。

【バスルートの現状】

- : バス路線
- : コミュニティバス
- : 生活交通維持確保路線
- : 乗合タクシー



利用者が減少すると

※生活交通維持確保路線・コミュニティバスとは…
運賃収入だけでは路線が維持できず、行政の負担によって運行している路線です。

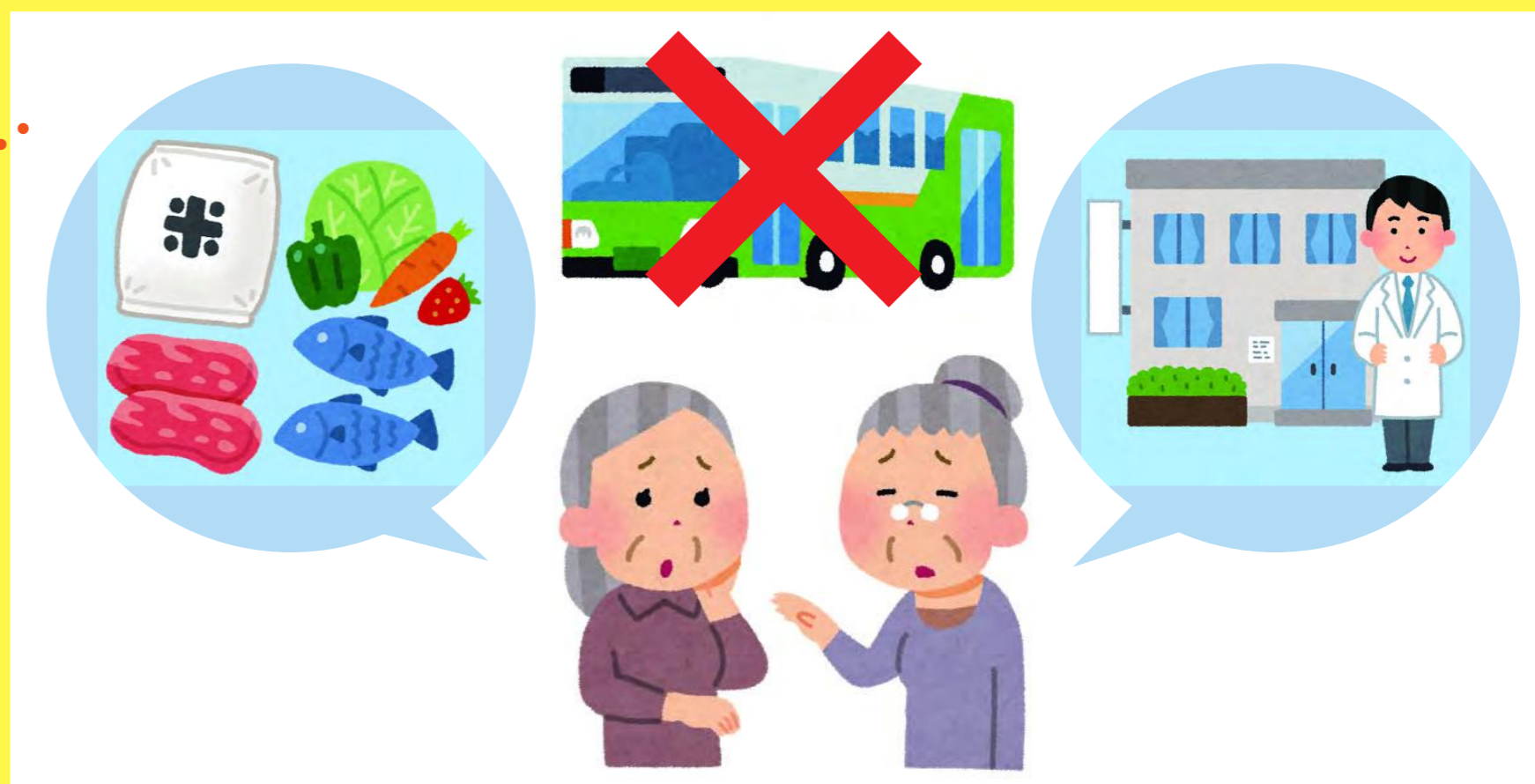
一定の利用者数や運賃収入がない場合、バス路線として維持すべきかどうかを検討します。

検討した結果
によっては…

その結果



利用者減少による公共交通のサービスの減便や路線の廃止



バスの減便や路線の廃止による買い物・通院困難も

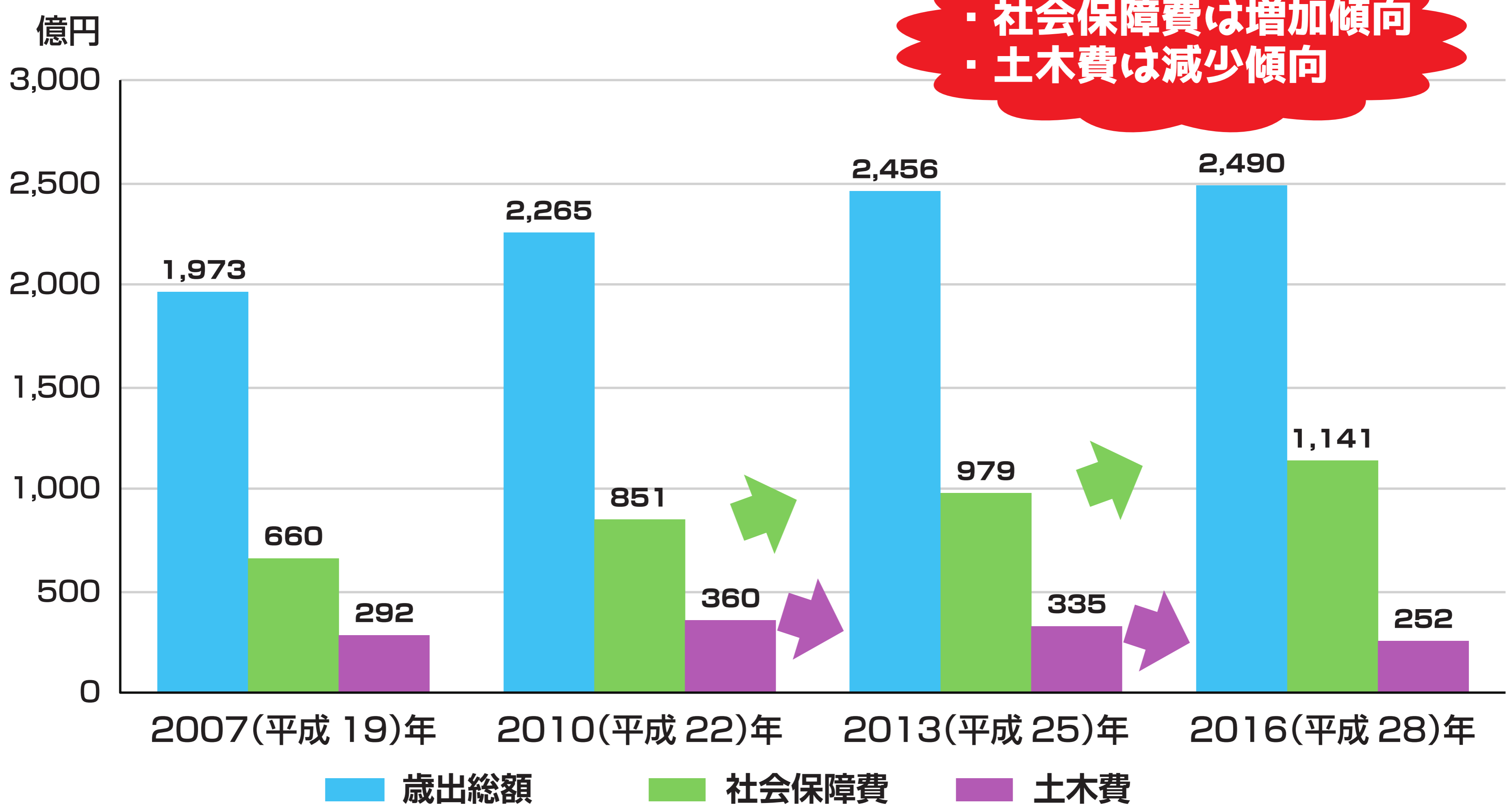
※乗合タクシーとは… 津久井地域におけるバスが運行していない地区において、生活交通を確保するため、運行するセダン型やワゴン型の車両を使った乗合型の公共交通です。

直面する課題（その3）

都市づくりのための費用の減少

- 市の財政は現時点では、健全に運営されています。
- しかし今後のさらなる高齢化や人口減少による歳入の伸び悩みや社会保障費の増加、老朽化する公共施設（道路・公園・下水道・公共の建物等）の維持管理費用の増加などにより、**今後は厳しさを増していくことが予想されます。**

【相模原市の歳出決算の推移】



・ 社会保障費は増加傾向
・ 土木費は減少傾向

社会保障費：福祉や医療に使われるお金（※市一般会計決算における民生費に該当）
 土木費：道路・公園などの整備や維持に使われるお金

**2005年は65歳以上の高齢者1人を
15歳～64歳の5人で支えていたが
2035年には2人で支える見込み**



少子高齢化・人口減少による税収の減少に伴う若者世代の負担増大



税収の減少や公共施設の老朽化により適切な維持管理が困難になる恐れ

新しい考え方に立った 都市づくりのはじまり

- 国では、全国的な高齢化と人口減少により、市民の生活を支える施設のサービスの提供や、地域活力の維持が困難になる恐れが生じていることから、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」と呼ばれる新しい都市づくりを提唱しています。
- 相模原市でもこうした考えに基づいた都市づくりを検討していきたいと考えています。

【全国的な課題】

【人口減少によって起こる課題】



【高齢化によって起こる課題】



「コンパクトシティ（まちの機能を集約した地域の拠点）
・プラス・
ネットワーク（バスなどで地域をつなぐ）」の都市づくり

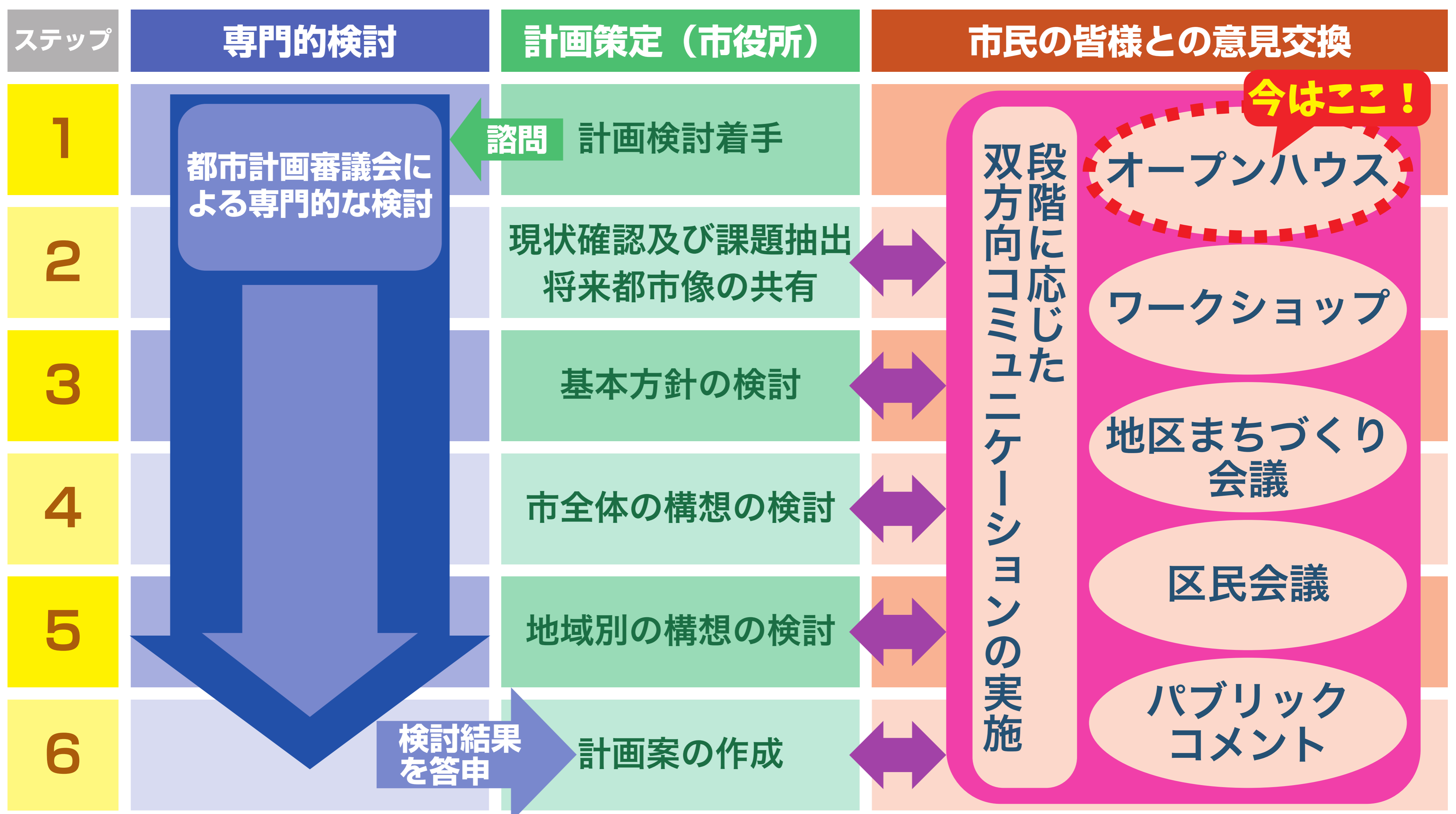


- ☑ 市民生活に必要な質の高い機能が集約した拠点の形成
- ☑ 人やモノの交流を生み出すネットワークの形成

相模原市の都市づくりの方針を 検討していきます

- これまでに示したような課題に対応するために、市では、都市づくりの方針を検討していきます。
- 検討にあたっては、専門家のみならず、市民の皆さんの参加を得ながら、じっくりと時間をかけて検討していく予定です。
- 今後も様々な機会を設ける予定ですので、ご協力をお願い致します。

【都市づくりの方針（都市計画マスタープラン等）の検討】



都市計画マスタープラン等の策定

相模原市の強み（その1）

活気ある市街地と豊かな自然環境

- これまでは課題を見てきましたが、相模原市には多くの強みもあり、それらを生かした都市づくりを進めていくことも重要です。
- 相模原市には、**活気ある市街地と豊かな自然環境の両方を兼ね備えた都市**であるという強みがあげられます。



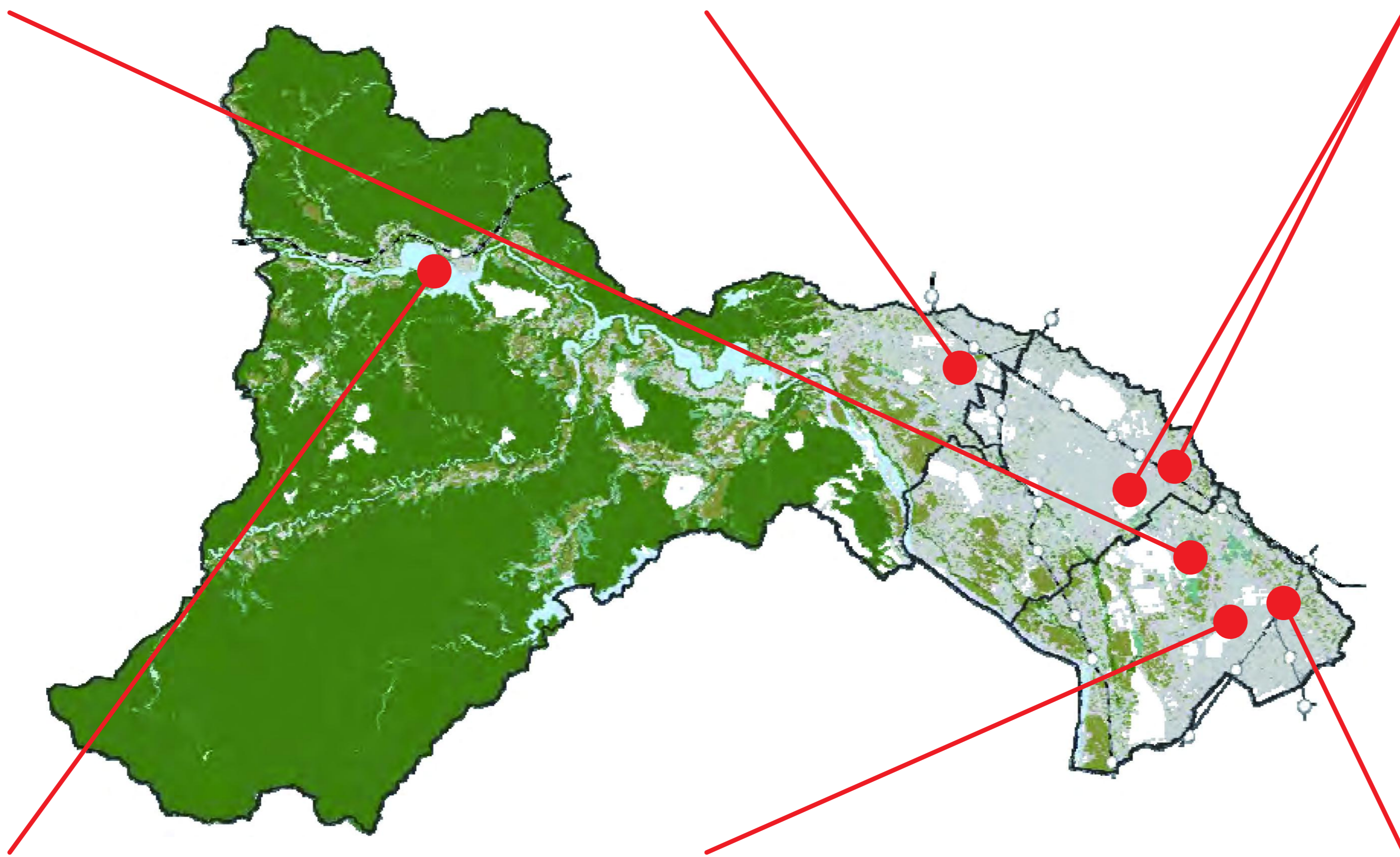
市民のコミュニティ活動や子どもたちの学習の場となっている市街地の中の広大な（約73ha）緑の空間（木もれびの森）



内陸工業都市として多くの人口と雇用を確保する産業の集積地（橋本の工業地）



教育・文化・研究施設が集積する都市（JAXA、青山学院大学相模原キャンパス）



豊かな緑と潤いあふれる自然環境（かながわの水がめ 相模湖）



良好で秩序ある住宅地の街並み



鉄道やバス交通の拠点であり、多くの人々がにぎわう中心商業地（相模大野駅周辺）

相模原市の強み（その2） 新たな都市づくりのチャンス

- 圏央道が開通し、2つのインターチェンジが開設しており、広域的な交通ネットワークが形成されています。
- リニア中央新幹線神奈川県駅が橋本に設置されることになっています。
- 相模原駅北側の相模総合補給廠の一部が返還されることとなっているなど、今後も都市づくりの大きな可能性があります。
- 将来は、小田急多摩線を市内に延伸させる構想もあります。

【圏央道の開通とインターチェンジの設置】

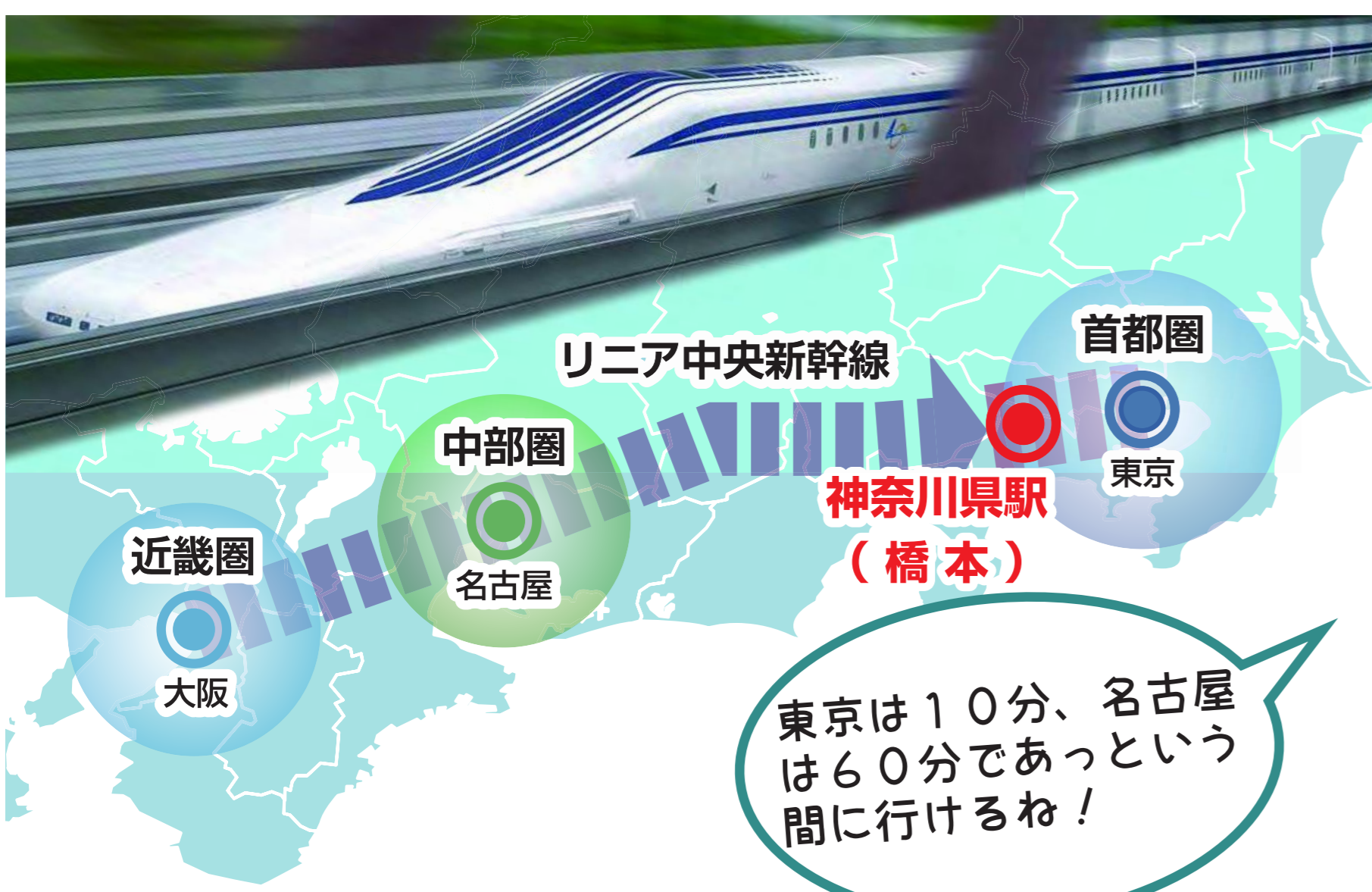


【リニア中央新幹線】

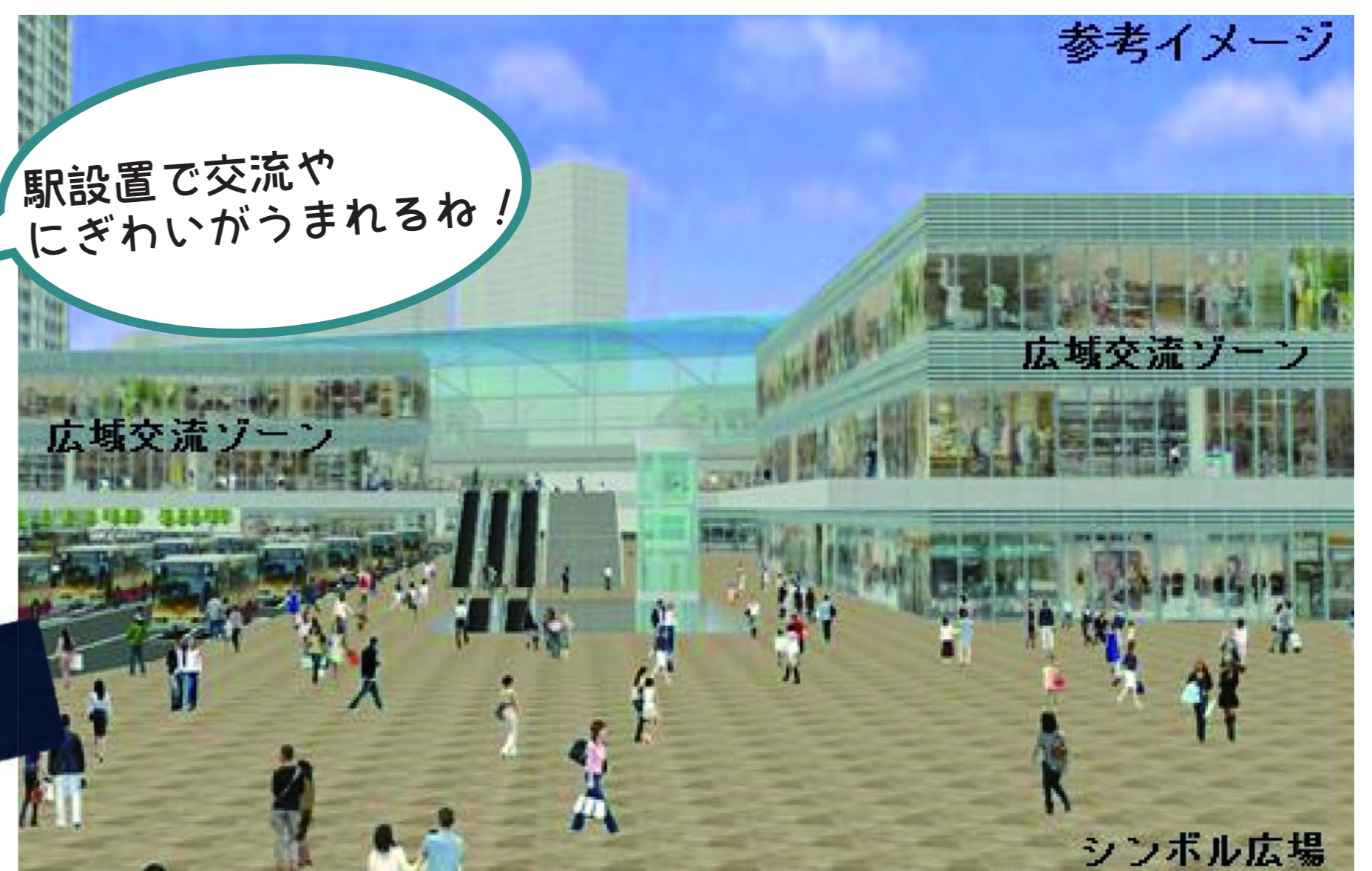


産業団地ができるなら、相模原市で働きたいな！

【新駅設置のイメージ】



東京は10分、名古屋は60分であつという間に行けるね！



駅設置で交流やにぎわいがうまれるね！

参考イメージ

シンボル広場

【補給廠一部返還地の都市づくりのイメージ】



駅に近いところに素敵なまちができるね！



参考イメージ

相模原市の強み（その3）

都心へのアクセス性等

- 電車で新宿や横浜まで40分程度で行くことができます。
- 豊富な自然環境や観光資源に恵まれ、都心に比べ、良好な住宅が取得しやすい魅力的な都市です。
- 圏央道や国道16号などの幹線道路が通っていることなどから、大規模な工場や企業も多く進出しています。
- 内陸に立地しており、地盤が強固であることなども強みとなっています。

【東京圏における相模原市の位置】

